

※潜在性結核感染症 (Latent tuberculosis infection : LTBI) とは

結核感染を受けていると思われ、発病の危険性が大きくなっている状態を意味します。

結核根絶には、新たな結核感染・発病者を確実に減らす対策が重要で、結核感染の疑われる者に対する LTBI の治療は結核の発病を積極的に防止する。

それは既感染者に治療を行い発病防止すること、および新規感染者を早期に発見して治療し発病を防止することであり、そのことが新たな感染を予防することにもつながります。

※潜在性結核感染症を発見に導く方法

- ①接触者健診・・・結核の感染源に曝露された可能性のある者に対して実施
- ②医療関係者の結核管理・・・医療関係者の入職時に感染の有無を確認実施
- ③結核発病リスクの評価・・・免疫抑制治療患者等に対して実施
- ④結核の補助診断・・・臨床的に結核発病の可能性はあるが、菌所見等が不明な患者に対して、診断の補助として実施



(大分県東部保健所 検査課 診療放射線担当 平成 27 年 11 月 25 日作成)